

PC 第2問

今日はグラフィックレコードとファシリテーションについてお話させていただきます。名畑と言います。よろしくお願いいたします。私は全国各地でファシリテーターとして活動をしています。その地域に住んでいる人とか、その地域で暮らしている人の声を聞くことがとても大事になってきます。ファシリテーターとしての活動としては、まずは参加者の発言をよく聞いて、その発言を見える化する。白板に書いたり、模造紙に書いたりします。その議論の到達点を参加者の皆さんと共有しながら着実に議論をステップアップすることが、このことによってできます。そうすると、参加者が主体的にアイデアを出して実践する担い手になっていくことが起きます。ですので、私どもがファシリテーターとして活動していくときに、とても重要なのは、議論を見える化してそれを共有することがとても重要になってくるわけです。私たちの活動の現場は、地域の居場所づくりをしたり、あるいは公共施設を設計したりというときに、ワークショップを開いたりします。そういったときには、行政の人、専門家、市民、様々な人たちが集まりますので、そういった人たちの議論を見えるようにしてステップアップさせていくことをしながら公共施設を設計したり、その地域の計画づくりに結んでいくことをやってきたりしています。

それでは、用語解説をさせていただきます。改めてグラフィックレコードをご説明しますと、会議や講演などの内容を文字やイラストを使ってリアルタイムに記録すること。これがグラフィックレコードになります。会議や講演などの内容を文字やイラストを使ってリアルタイムに記録することです。もう一方で、先ほどから、ファシリテーターと言っていますが、ファシリテーションは、分かりやすく促すことを言います。ファシリテーションというのは、分かりやすく促すことを言います。グラフィックレコードという、書いて見える化する技術とファシリテーションを組み合わせますと、ファシリテーショングラフィックという言葉があります。このファシリテーショングラフィックは、発言をリアルタイムに記録しながら、進行を分かりやすくして、議論を促す技術技術のことをいいます。ですので、まず単に書く。リアルタイムに記録することがグラフィックレコードなわけです。このファシリテーションが加わると、そこからさらに分かりやすく促して未来の議論につなげていく技術になるわけです。

私は、場の性格によってグラフィックレコードをやることもあれば、進行役も引き受けながらファシリテーショングラフィックをやることもあります。、基本はまずはリアルタイムに記録するということがとても重要になってきますので、これをグラフィックレコードと呼んでいます。ちなみに一例ですけれど、私がグラフィックレコードをするときは、座談会があったときに、一人ひとりの特徴ある発言を引き出して、キーワードを皆さんの目の前で書きます。最近、iPad で書いて、それを壇上のスクリーンに映しながら進行もやっています。大事にしているのは、その人らしい発言を短くキーワードで分かりやすく文字やイラストでまとめる。これを普段心掛けながらグラフィックレコードをやっています。一方で進行もやるとなると、ファシリテーショングラフィックです。みなさんが話している発言を次々書き留めていきます。生き生きした発言を見える化して、そうだろうというような前向きな議論に向けていくのが私どもの仕事になっていきます。